学校番号	410

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　標準古典Ｂ」　（第一学習社）						
副教材等	シンプルスタイルシリーズ古文単語３０１（尚文出版株式会社）、 完成日本文学史ノート（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典に用いられている語句の意味や用法、表現の構造や特色への理解の上、文章に表れた思想や感情の読み取りを行なう。その学習の中で人生を豊かにする教養を身に付け、ものの見方、感じ方、考え方を広げることをめざす。
・予習として、本文の確認・重要古語を調べてくること。授業後には、内容を振り返り、理解できていない部分を確認すること。
・提出物の期限は必ず守ること。

２　学習の到達目標

・古文と漢文を読む能力を養い、その当時の人々の思いや考え方を理解することができる。
・古典を学ぶことで、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めている。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	古典の理解に役立てるため、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に着ける。
評価方法	授業態度 発表 ノート ワークシート	ノート ワークシート 定期考査	発表 ノート ワークシート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	十訓抄	・比較的短い説話を読んで、古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・機知に富んだ返歌を読み味わうことで、日本語の言語文化に理解を深める。	○	○	○	a:重要語句の意味を古語辞典で調べている。 滑稽味を含む短い説話に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 b: 本文を適切に口語訳している。 内容を構成や展開に即して理解している。 登場人物の行動と心情を読み取っている。 c:『古本説話集』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	伊勢物語	・比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・助動詞について理解する。	○	○	○	a: 重要語句の意味を古語辞典で調べている。 歌物語に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 b:本文を適切に口語訳している。 内容を構成や展開に即して理解している。 和歌にこめられた感情を読み取っている c:過去の助動詞・完了の助動詞の基本的な意味・用法を理解している。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	徒然草	・随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞について理解する。	○	○	○	a:重要語句の意味を古語辞典で調べている。 随筆に接し、積極的に内容を理解しようとしている。 b:読解を深めることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くしている。 本文を適切に口語訳している。 内容を構成や展開に即して理解している。 作者の思想や感情を読み取っている。 c:助動詞「ず」の基本的な意味・用法を理解している。「なり」の語形について、文法的に識別している。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

	枕草子	・随筆を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助詞・助動詞について理解する。 ・随筆を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助詞・助動詞について理解する。	○	○	○	a：重要語句の意味を古語辞典で調べている。 「うつくしきもの」などの例を身の回りから挙げている。 b：適切に口語訳している。 読解を深めることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くしている。 c：文法書や辞書の活用。 『枕草子』について、文学史上の基本的な知識を調べる。 助詞「の」「が」の基本的な意味・用法を理解している。 a：重要語句の意味を古語辞典で調べている。 「うつくしきもの」などの例を身の回りから挙げている。 b：適切に口語訳している。 読解を深めることによって、ものの見方、感じ方、考え方を広くしている。 c：文法書や辞書の活用。 『枕草子』について、文学史上の基本的な知識を調べる。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	更級日記	・日記を読んで、人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞について理解する。	○	○	○	a：重要語句の意味を古語辞典で調べている。 日記に接し、積極的に内容を理解し b：作者の思想や感情を読み取っている。 晩年に回想して記した古典の日記文学の特質を調べている。 c：本文を正しく音読している。『更級日記』『源氏物語』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査
	項羽と劉邦	・長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・漢楚の興亡についての概要を知る。 ・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。 ・『史記』の文学性と作者司馬遷についての概要を知る。 ・歴史の中の人間について考える。	○	○	○	a：秦末の時代背景について調べている。 本文中の語句について、漢和辞典で調べている。 訓読しながら本文の話の展開と内容を理解しようとしている。 b：本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改めている。 脚注を参考に内容を捉え、語句の深い意味について理解している。登場人物の関係について把握し、それぞれの言動と心情について話の展開にそって読み取っている。 c：『史記』の成立事情や内容についての概要を理解している。秦末～漢の歴史的背景について知識を得ている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

3学期	平家物語	・軍記物語の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・中世の敬語や語彙に慣れ親しむ。 ・音便や挿入句といった、語り物の特色について理解する。	○	○	○	a:重要語句の意味を古語辞典で調べている。 軍記物語に接し内容を理解しようとしている。 b:源平の合戦という時代背景や登場人物について調べたり発表したりしている。 本文を適切に口語訳している。 内容を構成や展開に即して理解している。 c:挿入句について調べる。 『平家物語』について、文学史上の基本的な知識を持っている。	学習状況の観察 ノートの記述 プリントの提出 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。